

平成25年度 琴浦町当初予算の概要

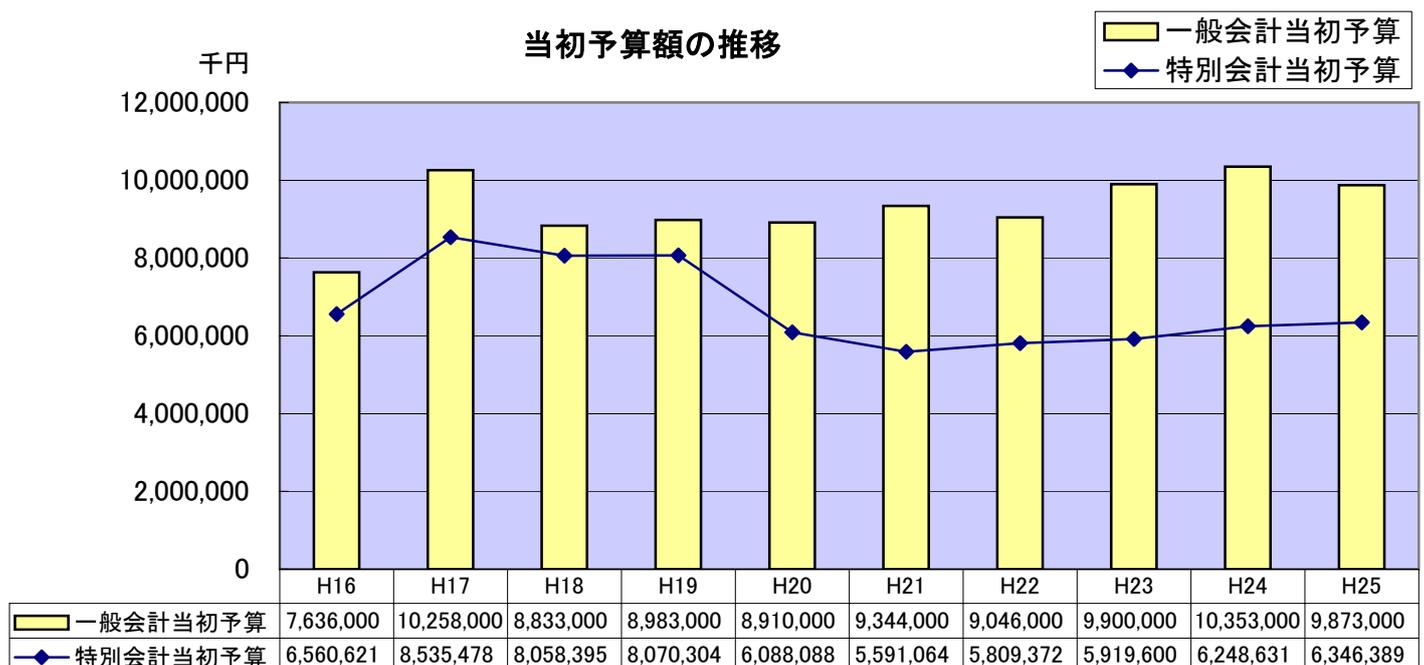
平成25年3月
総務課財政係

1 予算規模

(単位:千円)

会計名	H25年度	H24年度		対前年度差額			
	当初①	当初②	現計③	当初予算比 ①-②	増減率 (%)	現計予算比 ①-③	増減率 (%)
一般会計	9,873,000	10,353,000	11,481,043	△ 480,000	△ 4.6	△ 1,608,043	△ 14.0
国民健康保険特別会計	2,346,500	2,347,800	2,372,244	△ 1,300	△ 0.1	△ 25,744	△ 1.1
住宅新築資金等貸付事業特別会計	14,599	13,277	133,210	1,322	10.0	△ 118,611	△ 89.0
農業集落排水事業特別会計	258,906	256,702	256,442	2,204	0.9	2,464	1.0
下水道特別会計	1,240,383	1,198,645	927,962	41,738	3.5	312,421	33.7
介護保険特別会計	2,205,664	2,204,670	2,262,954	994	0.0	△ 57,290	△ 2.5
後期高齢者医療特別会計	191,806	193,460	193,460	△ 1,654	△ 0.9	△ 1,654	△ 0.9
八橋財産区特別会計	28	28	28	0	0.0	0	0.0
浦安財産区特別会計	15	15	15	0	0.0	0	0.0
下郷財産区特別会計	6	6	6	0	0.0	0	0.0
上郷財産区特別会計	6	6	6	0	0.0	0	0.0
古布庄財産区特別会計	6	6	6	0	0.0	0	0.0
赤碕財産区特別会計	20,738	20,509	21,491	229	1.1	△ 753	△ 3.5
成美財産区特別会計	2,702	2,859	2,859	△ 157	△ 5.5	△ 157	△ 5.5
安田財産区特別会計	9,097	10,648	10,698	△ 1,551	△ 14.6	△ 1,601	△ 15.0
以西財産区特別会計	56,086	58,852	58,852	△ 2,766	△ 4.7	△ 2,766	△ 4.7
合計	16,219,542	16,660,483	17,721,276	△ 440,941	△ 2.6	△ 1,501,734	△ 8.5

当初予算額の推移



2 概要

琴浦町の平成25年度一般会計当初予算は、前年度比4.6%減の98億7300万円となりました。

平成23年度から開始した役場新庁舎や浦安地区新保育施設の建設着手など大規模事業が減少したことにより、前年度より4億4800万円の減となりました。

平成24年度からの繰越事業は国の経済対策補正予算に伴う「地域の元気臨時交付金事業」や浦安地区新保育施設建築事業など13億9779万円となりました。

当初予算と繰越予算を合わせると総額107億7079万円となります。この予算を最大限に活かし、「安全、安心なまちづくり」を進めていきます。

また、今年度は5つの「戦略テーマ」を策定し、各課がそれに基づいたまちづくりを想定し、予算を編成しているのも大きなポイントです。

【歳入】

町税は法人税の増額を見込み、17億3855万円と前年度比329万円、1.9%の増となりました。

地方交付税については大幅な増額はなくほぼ前年並みの40億5855万円を見込んでいます。しかし、地方交付税を除く国からの各種交付金については押しなべて減少し、3455万円の減額となりました。

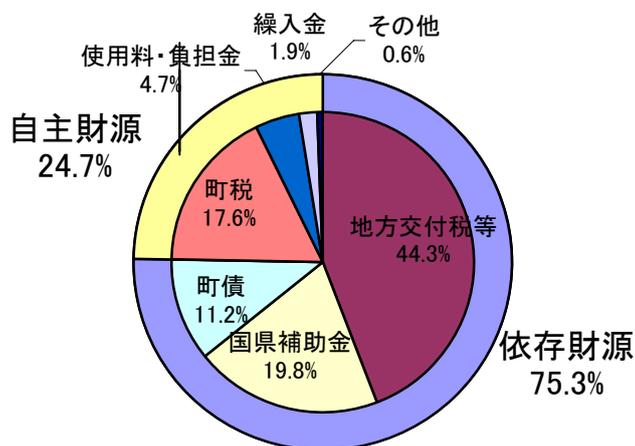
国庫支出金はほぼ前年並みの11億1519万円、県支出金は前年より3.1%減の8億3802万円となりました。

町の預金にあたる基金を切り崩す基金繰入金は4987万円、21.3%の減となりました。

町の借金にあたる町債は新庁舎建設の本体工事などの大規模な事業が終了したことから、4億2500万円、27.8%の減となりました。

前年度と比べると自主財源の占める割合が0.9%増加したものの、まだ全体の1/4程度に留まっています。

【歳入の内訳】



【歳入款別予算】

(単位:千円)

会計名	H24年度	H25年度		対前年度比	
	当初①	予算額	割合	差額	増加率
町税	1,705,651	1,738,554	17.6%	32,903	101.9%
地方譲与税	121,125	107,997	1.1%	△ 13,128	89.2%
利子割交付金	4,956	4,022	0.0%	△ 934	81.2%
配当割交付金	2,276	2,169	0.0%	△ 107	95.3%
株式譲渡所得割交付金	498	500	0.0%	2	100.4%
地方消費税交付金	169,845	163,995	1.7%	△ 5,850	96.6%
ゴルフ場利用税交付金	2,029	1,781	0.0%	△ 248	87.8%
自動車取得税交付金	27,761	25,976	0.3%	△ 1,785	93.6%
交通安全対策特別交付	2,800	2,670	0.0%	△ 130	95.4%
地方特例交付金	16,569	4,200	0.0%	△ 12,369	25.3%
地方交付税	4,030,000	4,058,550	41.1%	28,550	100.7%
分担金及び負担金	125,669	118,265	1.2%	△ 7,404	94.1%
使用料及び手数料	177,819	176,938	1.8%	△ 881	99.5%
国庫支出金	1,114,349	1,115,187	11.3%	838	100.1%
県支出金	864,894	838,016	8.5%	△ 26,878	96.9%
財産収入	4,977	6,497	0.1%	1,520	130.5%
寄附金	2,001	2,501	0.0%	500	125.0%
繰入金	234,443	184,575	1.9%	△ 49,868	78.7%
繰越金	50,000	50,000	0.5%	0	100.0%
諸収入	165,638	165,907	1.7%	269	100.2%
町債	1,529,700	1,104,700	11.2%	△ 425,000	72.2%
合計	10,353,000	9,873,000	100.0%	△ 480,000	95.4%

【歳出】

歳出性質別に見ると、各種助成金等にあたる扶助費は生活保護費等の増額により、前年度より6697万円増額しています。

物件費も3億4267万円3.9%増額しており、町道赤碕駅南線自由通路設置工事委託料の増などによるものと考えられます。

普通建設事業は7億7468万円減額しており、新庁舎の建設や赤碕中学校プール改修などの大規模な工事が終了したことによるものと考えられます。

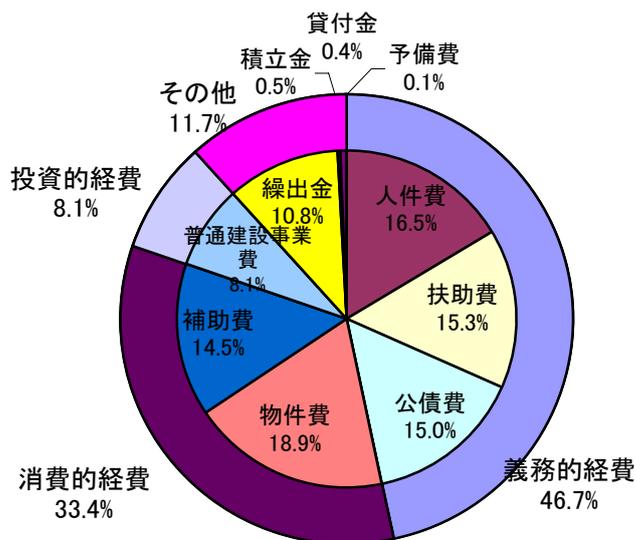
人件費や扶助費、公債費(借入金の返済)など必ず支払わなければならない義務的経費が歳出のほぼ半分を占めており、昨年度より歳出全体に占める割合が2.8%増加しています。

款別に見ると、ほとんどの款で減少している中、民生費が前年度より1億6163万円増加しており、生活保護、障がい者支援などの福祉事業の増加によるものと考えられます。

【歳出別性質】

(単位:千円)

区分	H25	H24	差額
人件費	1,626,404	1,632,372	△ 5,968
扶助費	1,507,313	1,440,348	66,965
公債費	1,480,623	1,475,682	4,941
物件費	1,870,118	1,527,450	342,668
補助費	1,428,926	1,485,393	△ 56,467
普通建設事業費	800,852	1,575,528	△ 774,676
繰出金	1,066,491	1,065,906	585
積立金	44,989	59,005	△ 14,016
貸付金	34,920	37,220	△ 2,300
予備費	11,035	52,568	△ 41,533
維持補修費	1,299	1,507	△ 208
災害復旧事業費	30	21	9
合計	9,873,000	10,353,000	△ 480,000



【歳出款別予算】

(単位:千円)

会計名	H24年度		H25年度		対前年度比	
	予算額	割合	予算額	割合	差額	増加率
民生費	3,025,161	29.2%	3,186,793	32.3%	161,632	105.3%
公債費	1,475,682	14.3%	1,480,623	15.0%	4,941	100.3%
総務費	1,710,284	16.5%	1,403,877	14.2%	△ 306,407	82.1%
土木費	1,121,293	10.8%	1,047,704	10.6%	△ 73,589	93.4%
農林水産費	998,172	9.6%	900,190	9.1%	△ 97,982	90.2%
教育費	830,973	8.0%	732,079	7.4%	△ 98,894	88.1%
衛生費	475,927	4.6%	463,229	4.7%	△ 12,698	97.3%
消防費	297,843	2.9%	305,938	3.1%	8,095	102.7%
商工費	246,041	2.4%	229,380	2.3%	△ 16,661	93.2%
議会費	116,549	1.1%	111,992	1.1%	△ 4,557	96.1%
予備費	52,568	0.5%	11,035	0.1%	△ 41,533	21.0%
諸支出金	100	0.0%	100	0.0%	0	100.0%
災害復旧費	2,407	0.0%	60	0.0%	△ 2,347	2.5%
合計	10,353,000	100.0%	9,873,000	100.0%	△ 480,000	95.4%

3 基金の状況

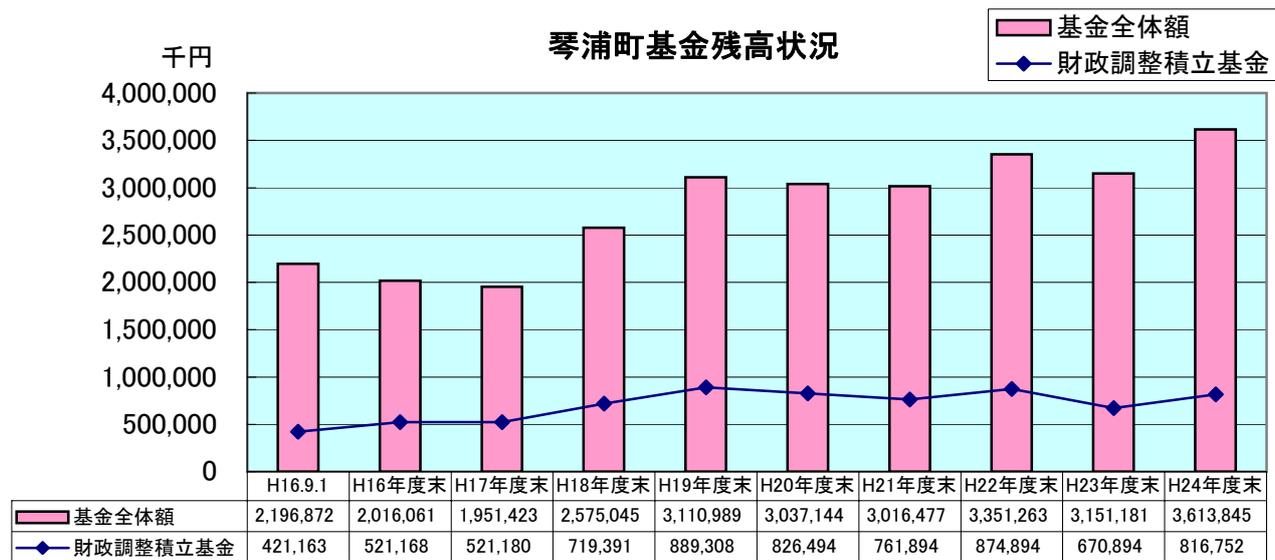
年度間の財源不均衡を補うため、地方財政法で設置が義務付けられている財政調整積立金は、合併以降、その他の目的基金を先立って取り崩したため、これまで積立額を増額してきました。平成24年度には約1億5千万円を積立て、8億円超となりました。

その他の目的基金については、合併から平成17年度までに財源不足分として約2億4500万円を取り崩しています。

平成19・20年度は合併特例債を財源として、地域振興基金を創設したため、大幅に増額となりました。

また、平成22年度には地方交付税の雇用創出費部分の増額に伴い、地域雇用創出基金を新設するなど財源の確保に努めました。この結果、平成24年度末のその他目的基金予算残高は、27億9709万円になりました。

基金残高については、合併時より増額となっていますが、合併10年後の平成27年度からは地方交付税の段階的減額が行われ、収入の大幅な減となるため、引き続き厳しい財政運営が見込まれます。



4 「5つの戦略テーマ」

平成25年度の当初予算編成の最も大きなポイントは、5つの戦略テーマを設定した点です。

この戦略テーマは、町長が提唱する「安心して暮らせるまちづくり」を実現させるための重要なテーマです。平成25年度はこの戦略テーマを踏まえて予算編成に当たっています。

各テーマとそのテーマごとの取組みを紹介します。

平成25年度当初予算編成戦略テーマ

- 安心安全に暮らせるまちづくり
- 地域産業の活性化による賑わいあるまちづくり
- 協働・自立のふるさとを目指した人づくり
- 魅力ある“ことうら”を誇れるまちづくり
- 新庁舎時代に相応しい行政サービスづくり

戦略テーマ1 安心安全に暮らせるまちづくり

□町民の生命・財産を守ります。

○自主防災組織の育成 1,200 千円

暮らしの基本となる各自治会において、災害時に早期対応が可能な自主防災組織していただき地域防災力の向上に努めます。また、自主防災組織への防災機材の支援も行います。

○第9分団消防自動車の更新による消防力の向上 22,000 千円

第9分団(成美地区)の消防自動車を更新し、地域消防力の向上を図ります。また、女性消防団員の増員をはかります。

○町内街路灯のLED化の推進 15,500 千円

町内路線すべての街路灯を5年間計画でLEDに変更し、省エネで明るく安全な通行ができるよう整備を進めます。

○通学路の安全対策の推進 37,500 千円(町道改良事業)

町内路線の新設、改良による道路環境の整備にあわせ、通学路の歩道整備、カラー化などを進め通学路の安全確保に努めます。

○地籍調査事業の進捗アップ 80,234 千円

国土調査事業十カ年計画を基準とした地籍調査を実施し土地所有者及び面積の確定を行い財産の保全を行います。

○有害鳥獣・家畜伝染病対策 5,469 千円

イノシシ、ヌートリア等の有害鳥獣の駆除を図り、口蹄疫等の家畜伝染病の感染経路の寸断や予防に努めます。

□町民の健康増進を図ります。

○健康診断受診率の向上 37,702 千円

基本検診、各種がん検診受診率向上を図るとともに、国保外人間ドック検診、国保特定検診なかよし受診事業などを新設し、早期発見早期治療による健康で豊かな生活ができるよう取り組みます。

○介護予防に対する取組 12,143 千円

高齢者が、健康でいきいきと自立した生活が続けられるよう介護予防への取り組みをさらに充実させるため、新たに65歳に到達された方を対象に介護予防の重要性を理解いただくための教室を開催します。

○認知症予防に対する取組 14,800 千円

認知症予防を先進的に推進している町として、認知症対策を更に発展させるため、認知症予防教室の内容充実、再編を図ります。

□子どもたちを守り、豊かな心と体を育てます。

○安心して通える学校づくり 7,966 千円

スクールソーシャルワーカーを設置し、いじめ、不登校、児童虐待等さまざまな生徒指導課題に対応します。また、ハイパーQUを実施し学校内の状況を把握し、いじめ、学級崩壊などの問題を未然に防ぎます。

○子育て環境の整備 40,684 千円

第3子以降の保育料無料化を継続及び、通園児世帯に園児1人当たり年間24千円の子育て支援交付金を支出し子育て環境の充実を図ります。また、保育士の研修機会の充実を図り保育の質の向上を図ります。さらに、現在建設中の浦安地区新保育施設では平成26年度から休日保育が実施できるよう準備を進めます。

○インフルエンザ等の予防接種に対する助成 47,359 千円

従来から行っている幼児、高齢者へのインフルエンザ予防接種助成の対象を琴浦町独自の取り組みとして中学生まで助成対象として拡大し、子どもたちの健康増進に努めます。

□生活環境の整備を図ります。

○公共下水道の整備促進 797,557 千円

公共下水道事業を推進し、住環境の整備を推進します。

○町内公共交通機関の整備促進 57,392 千円

町営バスを運行し公共交通の整備を図ります。また、デマンド型交通制度導入における需要調査を実施します。

○情報インフラの整備 48,000 千円

伝送路の光ケーブル化を実施するため実施設計を行います。情報インフラ網の整備を進めることで生活環境の整備を図ります。

戦略テーマ2 地域産業の活性化による賑わいあるまちづくり

□第一次産業の活性化による地場産業の育成を図ります。

○がんばる地域プランによる農業どころ琴浦町の復興 32,922 千円

多くの関係者により策定した農業振興計画(がんばる地域プラン)の実施により、農産物の生産拡大による地域活性化や雇用の創出を図ります。また、農産物の販路拡大を目指し関西エリアでの各種イベントや県内量販店などでことうら物産展を展開します。

○新規作物導入による遊休農地対策 930 千円

ぼろたん(栗)及びトウガラシ等の新規作物の導入により、遊休農地の解消を図り、琴浦町の新たな特産物となるよう取り組みを行います。

○農林水産業活性化研究会による農業振興 145 千円

鳥取大学と連携し農林水産業活性化研究会を開催し、琴浦町の農林水産業のこれからを考え、どのような可能性があるかを研究し、各種取り組みに反映させます。

○企業農業参入の支援 3,925 千円

農業経営に意欲的な企業の新規参入時の機械又は施設整備等を支援することにより、農業参入の推進と地域経済の活性化を図ります。

□企業誘致による地域活性化を図ります。

○企業誘致活動の推進 16,259 千円

新たな企業誘致が実現できるよう関西事務所を中心に企業誘致活動を強力に推進します。また、企業誘致のキーとなる工業団地の造成を行うため測量設計を開始します。

○議会による企業誘致研究活動 300 千円

議会において企業誘致推進特別委員会を設置し、企業誘致に関して研究を行い町の企業誘致戦略本部とともに企業誘致の実現を目指します。

□地元産業の支援による賑わいあるまちを創造します。

○商工会、中小企業への支援 38,295 千円

ことうら商品券発行支援など、商工会支援を行うことで、町内の商工業事業者の活力を回復します。また、融資資金利子補給により中小企業が借入れを行いやすい環境を整備します。

○観光協会、琴浦ぐるめストリートプロジェクトへの支援 11,000 千円

観光協会、琴浦ぐるめストリートへ業務委託することで、町内観光地と飲食店街の連携による新たな観光客誘客を目指し、賑わいのあるまちづくりを目指します。

○琴浦町観光元年の取組 35,626 千円

平成25年度を琴浦町観光元年と位置づけ、琴浦町の魅力を最大限に発信し、「昼食は琴浦」キャンペーン等の新たな取り組みを交えた観光戦略を展開します。また、光地区の饅絵に注目した取り組みを行い新たな観光スポットとして整備を行います。

○6次産業化の推進支援 32,014 千円

アイスクリームや水産加工品の新商品開発等を支援し、付加価値の高い商品作りを通して地元産業を支援します。

○住宅用太陽光発電設置業者支援 6,900 千円

住宅用太陽光発電施設を設置にあたり、地元業者で設置する場合には補助単価を高める優遇措置を行います。これにより、町内業者の受注増加を目指します。

□赤碕地区の振興による賑わいのあるまちづくりを推進します。

○赤碕駅南開発および琴の浦高等特別支援学校の開校支援 308,247 千円

赤碕駅南に移転が決定した八橋警察署をふまえ、赤碕駅南線の開通、JRの高架橋設置など赤碕駅南の開発を行います。また、本年4月に開校する琴の浦高等特別支援学校を地域で支援し、より良い学校づくりに協力します。

戦略テーマ3 協働・自立のふるさとを目指した人づくり

□教育を通じた豊かな人づくりを推進します。

○モジュール学習の推進による子どもの能力開発 300 千円

琴浦町独自の教育方針として、モジュール学習(脳トレ)を導入し、子どもたちの基礎学力向上に努めます。

○小学校統合に向けた環境整備の促進 91,661 千円

小学校統合の際に、子どもたちがスムーズに学校生活に馴染めるよう学校間交流を深める取り組み、統合小学校生徒への体操服購入助成などのソフト面、通学路、学校環境整備及び通学用スクールバスの購入などハード面の両面を整備し、安心して通える学校環境整備を行います。

○「10秒の愛」推進による人づくり 500 千円

10秒だけでも子どもと真剣に向き合おうという子育ての合言葉「10秒の愛」をキーワードに家庭や地域の教育力向上を図ります。

□協働事業による人づくりを推進します。

○広報ことうらへの町民レポーター制度の導入 80 千円

町民の方に町報編集へ参画、町報に興味を持っていただき、共に作る身近な町報を目指します。

○アダプト制度による環境愛護事業の推進 3,289 千円

アダプト制度導入による海岸漂着物処理、土木施設愛護ボランティア団体の育成を行い、町民による町の景観、財産を守る取り組みを進めます。

○住民主導事業への支援 3,140 千円

住民提案型の事業を支援するため、輝け地域支援事業、住民提案型協働事業等の制度を活用し、町民自らが行うまちおこし事業を応援します。また、婚活事業にも支援を行います。

○自治基本条例の制定 1,361 千円

まちづくりの基本原則などを定めた自治基本条例を制定し、まちの主役である町民と町が共に力を合わせ、よりよい琴浦町をつくっていく仕組みづくりを行います。

□交流による地域と人づくり推進します。

○中山間地域振興対策・地域おこし協力隊員誘致 849 千円

中山間地域の住民主導の地域づくり団体の活動を支援し、県内の地域づくり団体との交流を深め、ワークショップを実施するなどし、地域の活性化を図ります。また、生活実態調査などを行い、調査結果に基づく行政課題の解決に向け取り組みます。

平成 26 年度から中山間地域活性化の専門的知識を持った地域おこし協力隊員を県外から誘致し地域活性化に取り組むための準備を進めます。

○国際交流の推進 4,566 千円

韓国麟蹄郡との交流は行政をはじめ、小中学校間での交流、企業、民間団体など様々な分野で進めます。

□今日的課題解決のための人づくり

○人権・同和教育に関する取り組み 50,675 千円

人権教育推進員を中心とした人権・同和教育啓発活動を推進し、新たな指導者を育成します。また、進学奨励金制度により就学機会の保障を行います。

○定住外国人支援の充実 507 千円

町内在住の外国人の方が、安心して琴浦町で暮らせるよう、日本語教室の開催、各種交流事業の実施などを通して支援を行います。

○家庭省エネルギー普及啓発の推進 1,192 千円

省エネルギー社会を実現させるため、省エネに対する集団指導や個別指導を行います。また、ごみの減量を図るため琴浦さんエコバックを作成するなどごみの減量対策を実施します。

○介護ボランティア制度の導入 1,099 千円

新たに介護ボランティア制度を導入し、高齢者自らが有償のボランティアを通して地域貢献を行いながら、健康増進と介護予防の推進を図ります。

戦略テーマ4 魅力ある“ことうら”を誇れるまちづくり

□“ことうら”の魅力を発信します。

○琴浦さんタイアップ事業 2,638 千円

アニメ化になるなど話題の「琴浦さん」とのタイアップ事業により、県内外はもとより県外の方に琴浦町を知っていただき、琴浦町の魅力に触れていただく機会を作ります。(御当地ナンバー・エコバック含む)

○琴浦梨をはじめとする琴浦町特産品のPR 1,401 千円

琴浦町が誇る、琴浦梨をはじめとする農産物、赤碓港で水揚げされる魚介類、銘菓、銘酒等の特産品をインターネットなど様々な媒体、イベントなどを通してPRします。

○都市消費者との交流 1,054 千円

コトウラ暮らし体験ツアーを開催し、関東・関西圏から参加者を募り琴浦町の魅力に直に触れていただく機会を創設します。また、農産物の栽培など農業体験を実施しながら琴浦町の魅力を体感する機会を提供します。

□“ことうら”の魅力を創造します。

○大高野遺跡の保存・活用推進事業 1,090 千円

槻下地内の大高野遺跡の史跡指定に向けて取り組みを行います。併せて国の特別史跡である斎尾廃寺跡を含め、白鳳期に栄えたこの地域の魅力を再検証します。

○ウォーキングコースの設定と環境整備 4,405 千円

海岸部にウォーキングコースを設置し観光案内看板を設置するなどウォーキング環境の充実を図ります。観光スポットと連携したまち歩きをコース化することで新たな琴浦町の魅力を創造します。また、町内外から参加者を募りウォーキング大会を実施し琴浦町を体感していただきます。

○コトウラ暮らしの勧め(移住定住の促進) 2,980 千円

田舎暮らしを検討されている方が、気軽に琴浦町で農業や地域交流を体験できる長期滞在型お試し住宅を運営します。また、移住定住アドバイザーを設置するなど琴浦町の魅力をPRすると共に定住促進を図ります。

○琴浦でアーチェリー推進事業 531 千円

2012 年ロンドンオリンピックで銅メダルを獲得された川中香緒里さんの功績に鑑み、琴浦町を県内アーチェリー競技のメッカとすべく、アーチェリー教室の開催や県内大会の誘致など、競技人口の拡大、普及を図ります。

○琴浦方式の取組発信

琴浦町が先進地と誇れる独自のもの“琴浦方式”を生みだします。

教育面では保育園から中学校まで一貫したモジュール学習の実施、また、子育て面では 10 秒の愛運動を推進します。福祉面では既に認知症予防の先進地とされていますが、更に取り組みを進めるなど琴浦町の魅力を高めます。また、胃カメラ検診については、町内医療機関協力の下、町内で受診していただければ読影料を徴収しない取り組みを継続します。

戦略テーマ5 新庁舎時代に相応しい行政サービスづくり

□町民に親しまれる庁舎を目指します。

○職員研修による対応力向上 3,352 千円

町民の皆さんが気持ちよく利用できる庁舎とするため、職員の対応研修を充実します。

○議会図書室の充実 70 千円

議会基本条例に基づき議会図書室を充実すると共に、図書室を一般開放します。

○エントランスホールと多目的施設の開放による町民交流

新庁舎エントランスホールに展示スペースを設け、町の紹介スペースを始め町内の各種団体が作成した作品などを展示できる交流の場を設定します。また、旧庁舎には多目的に使用できるスペースを設置します。

□行政サービスの向上を図ります。

○窓口サービスの向上 500 千円

口座振替キャンペーンを実施し、口座振替率を向上させることで、町税、各種料金お支払の際に窓口でお支払、お受取りをしていただくことなくお手間をかけません。

○税負担の公平性の確保 205 千円

町税、住宅使用料、各種貸付金などの滞納整理事務を強化し公平性を確保します。

○集中管理による業務効率の向上

各種手続き業務、公用車などの管理業務を集中化し、業務効率の高い業務運営を行います。